



報道関係者各位

2017年8月29日

株式会社レノバ

熊本県南阿蘇村湯の谷における地熱発電

～資源量把握のための掘削開始～

熊本県阿蘇郡南阿蘇村湯の谷において地熱開発を計画する、3社共同事業者グループ：株式会社レノバ（東京都千代田区、代表取締役社長 CEO 木南陽介）、株式会社フォーカス（東京都港区、代表取締役 江村真人）、デナジー株式会社（東京都品川区、代表取締役社長 中野大吾）は、2017年8月10日に熊本県知事からの掘削許可を受け、同地域にて地熱資源量把握のための構造試錐井の掘削を9月13日より開始する予定です。

本南阿蘇村湯の谷における地熱開発に関して、南阿蘇村の吉良村長からは、「この開発は、南阿蘇村にとって、2016年4月に発生した熊本地方を中心とした地震による災害からの復興の象徴のひとつであり、また、経済的な支えとなるなど重要な役割を担うものです。地熱という再生可能エネルギーを利用した電源開発・運営という社会的意義の大きな取組みが、南阿蘇村で実現できることを期待しています」とのコメントを頂戴しております。

<地熱資源調査概要>

- 調査エリア 熊本県阿蘇郡南阿蘇村湯の谷（株式会社フォーカスの100%子会社所有地内）
- 調査内容
 1. 坑井掘削：地熱資源量を把握するための井戸を掘削します
 2. 坑内検層・坑井試験：掘削した井戸の特性を把握するための試験を行います
 3. 坑井地質調査：掘削した地質を分析・確認します
 4. 総合解析：得られた結果をもとに地熱資源量を評価し、今後の開発計画を立案します
- なお、温泉モニタリングは、私どもの調査エリアの外周部にて、同じく地熱資源の資源量調査を行う他事業者様グループと2015年度より共同で実施しております。

【株式会社レノバについて】

レノバは、2000年5月に環境・エネルギー分野での調査・コンサルティング事業を創業し、2012年から再生可能エネルギーを利用した発電事業を中心に行っている環境ビジネス専門の会社です。現在、大規模太陽光発電所を9カ所（うち2カ所は建設中）、バイオマス発電所を1カ所運営しています。また、日本最大級の洋上風力発電事業の検討を開始するなど、常に先進的な分野へ取り組むことで、日本・アジアにおけるリーディング・カンパニーになることを目指しています。

【報道関係からのお問合せ先】

株式会社レノバ 社長室 田中、窪田

電話：03-3516-6263 メール： press@renovainc.jp